

第17回 高知港海岸地震津波対策技術検討会

議事概要

1 開催概要

日 時：令和7年12月3日（火） 15：00～17：00（web 会議）

場 所：高松サンプール合同庁舎北館1304会議室
（専門家、関係者はweb 接続）

目 的：本検討会は、高知港海岸（直轄区間）の整備をより効率的・経済的に進めていくため、地震津波対策を検討する段階において、景観・利便性等にかかる条件に配慮しつつ、新技術の適用性やコスト縮減・対策方法の妥当性等について専門家の助言等を頂き、要求性能の確実な確保について検討することを目的とする検討会である。

【専門家】

座長	菅野 高弘	（海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 フェロー）
	高橋 英紀	（東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 教授）
	竹信 正寛	（国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾施設研究室長） 【欠席】
	鶴田 修己	（海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸水工研究領域 耐波研究グループ長）
	野津 厚	（海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹（地盤・構造研究担当））

【オブザーバー】

	鈴木 高二朗	（海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹（沿岸・海洋研究担当））
	宮田 正史	（国土交通省 国土技術政策総合研究所 研究総務官）

【関係者】

浅見 尚史 (国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 部長)

野本 啓介 (国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所 所長)

宮本 裕輔 (国土交通省 四国地方整備局 高知港湾空港技術調査事務所 所長)

岡本 通伸 (高知県 土木部 港湾・海岸課 課長)

田原 圭 (高知市 都市建設部 副部長)

2 検討内容

【審議事項】

- ① 高知港海岸湾口地区長浜水門の構造形式（案）

3 検討結果概要

1) 高知港海岸湾口地区長浜水門の構造形式（案）

- ① 提案された構造形式（案）は概ね妥当である。ただし、以下の②～⑤について留意すること。
- ② プレキャスト構造（案）については、プレキャスト部と中詰めコンクリートの間にズレ止めがない構造仕様を一体化断面として扱い、1つの梁要素でモデル化することの妥当性について過去事例等を参考に確認しておくこと。
- ③ 場所打ち構造は現地で海上施工する際に鋼矢板で囲みをつくりドライな状態とする前提であるため、止水性等をよく検討しておくこと。
- ④ 取付護岸について、越流時は港内側の水表面は高速流だが、マウンド被覆部付近の深さでは然程流速が速くない可能性があるため、解析を用いて流速を算定する方法が考えられる。
- ⑤ 津波作用時に取付護岸マウンドや目地から浸透する水量が上流域に与える影響を確認しておくこと。